

チーム武北の挑戦(チャレンジ)

武蔵ヶ丘北小学校(西崎徹校長、児童数425人)は新たな教育目標「あいさつ 笑顔 思いやり すすんで学ぶ武北っ子」を掲げ、思いやりのあるやさしい児童(共感力)・すすんで学ぶ児童(考動力)・粘り強くやりぬく児童(やりぬく力)を育てるために、地域や保護者のご協力の下、力を合わせて学校づくりに取り組んでいます。

今年度から2年間、町教育委員会から学力充実の研究指定を受け、子どもたちの学習への意欲・関心が高まる授業づくりと環境整備を目指して、全職員一丸となって歩み始めました。今年3月に配備された電子黒板も有効に活用しながら、「挑戦(チャレンジ)、輝き、一歩前進」をモットーに邁進しているところです。



電子黒板を活用した算数の授業

ゆたかな心をはぐくむ 人権のひろば 122

人権啓発標語 「見えますか? あの子の心 みんなの心」

菊陽中学校 1年 福島 理緒(現在2年生)

「ママとお風呂に入るのが大好き」

みどり園 古庄 百華(5歳)



なかよしの友だちと(作者右側)



「ママと一緒に」

ママといつも二人でお風呂に入るよ。  
お兄ちゃんと妹はパパと入るよ。  
お風呂で、ひよこやアイスのおもちゃで遊ぶのが楽しいよ。  
体は自分で洗って、髪の毛はママに洗ってもらう。  
ママと美容室ごっこをして遊ぶから楽しいよ。

(先生から)昨年、妹が生まれてとっても嬉しい百華さんです。家ではミルクをあげたり一緒に遊んだりとても優しいお姉さんです。ママと二人でお風呂に入る時間が大好きで絵を描いてくれました。百華さんの嬉しい気持ちが絵を見ると伝わってきます。

～ハンセン病を正しく理解する週間に考える～  
「なぜ、偏見や差別が生じたのか」

6月23日～29日はハンセン病を正しく理解する週間です。1964年(昭和39年)からこの取り組みは始まっています。

また、1996年(平成8年)「らい予防法の廃止に関する法律」施行の際に、国会で「一般市民に対して、また、学校教育の中でハンセン病に関する正しい知識の普及啓発に努めハンセン病に対する差別や偏見の解消についてさらに一層の努力をすること」が決議されています。しかし、今年3月18日に熊本県が開いた「第9回県ハンセン病問題啓発推進委員会」でのハンセン病についての県民アンケート調査結果報告によれば、「自身の気持ちの中にハンセン病の患者や、治癒された方に対する偏見や差別意識があると感じるか」との質問に「ある」が2.9%、「少しある」が23.6%で合計26.5%であったこと、「ある」「少しある」と答えた人は2016年までは減少傾向だったが、「ある」「少しある」の合計数値は2017年24.3%、2018年26.5%と増加していることが報告されています。私たちのハンセン病に対する正しい理解が求められています。

2001年(平成13年)5月11日、熊本地方裁判所は「らい予防法違憲国家賠償訴訟」で「新法の隔離規定はハンセン病予防上の必要を越えて過度の人権の制限を課するもので、憲法13条、22条に違反。

新法の隔離規定を改廃しなかった国会議員の立法上の不作為は違法」との判決をだしました。国は控訴せず判決は確定しました。偏見や差別をもたせた大きな要因に隔離政策があったといえます。

ハンセン病問題の歴史を振り返るとき、1941年(昭和16年)のプロミン治療薬の登場、1956年(昭和31年)の「患者救済並びに社会復帰に関する国際会議」での「強制隔離の廃止、通院加療の原則の決議」などの節目がありました。ハンセン病は感染症の一つですが、感染力は極めて弱く、感染しにくい上、発病することはまれです。治療法が確立して早期発見で短期間に外来治療で治癒する病気です。しかし、国際的には隔離政策は否定されながらもわが国では隔離が継続されてきました。隔離政策の中でどんな生活がそこにあったのかに思いをはせ、国や医学、教育、報道等そして私たちも含め過ちをもたらした事実を心に刻み、正しい理解の基に個人の尊厳や基本的人権を尊重し合って生きる社会を築くために何をすべきかを一人一人が問い返していきたいと思えます。



菊陽句会報

きくよう文芸

短歌会

- |                 |       |                 |       |
|-----------------|-------|-----------------|-------|
| 門燈のだいたい色や遅桜     | 田島 三間 | うぐひすに姿見せてと目の泳ぐ  | 志賀キヨ子 |
| 桜吹雪希望校門晴れ姿      | 宮川ユキエ | 生き方に答えはなくて朧月    | 財津 早雪 |
| 地震三歳彩粧る紫木蓮      | 紫藤 祥子 | さくら咲いたよ無言の父の耳元で | 原野レイ子 |
| 春光や七色染めて摺りガラス   | 曾我 育代 | 改元や辞典開きぬ春一日     | 寺尾千代子 |
| 平成を惜しみつつ令和迎ふ春   | 曾我トモ子 | 水音のささやきあふる春の江津  | 高橋 孝子 |
| 菜の花や風と肩組み日は西へ   | 緒方チエ子 | 春惜しむ友と楽しむ間もなく   | 福田 貴子 |
| 受験子にガンバレくれる夜食かな | 米山るみ子 | チューリップ頬を寄せたる女の子 | 北川しんじ |
| 桜狩りして幸せな一ト日かな   | 吉田 幸子 | 卒業証書大きく広げスマホ前   | 佐藤 澄世 |
| たんばばや吐息に祭の離れけり  | 木村 信子 |                 |       |

- 去年ありて今年はや散る古き梅急ぐごとと春と裡に思ふに  
遅霜の心配いらぬ四月半ば春ジャガイモの覆いを外す  
あらたなる命と生れし曾孫の人生如何にとつくづくと見る  
淡々と霞みて見ゆる桜花里へ山へと移ろい咲きぬ  
映像に春竜胆の流れいて山への思い諦め切れぬ  
オオカミは病気のウサギにおくすりを飲ませて治してあげました
- |       |       |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 有久 賢治 | 梅田 國雄 | 河北 幸一 | 佐藤せい子 | 中村トシエ | 松本 東亜 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|